

## 今月のみことば 2026年5月

わたしを見出す者はいのちを見出し、主から恵みをいただく。 (箴言8章35節)

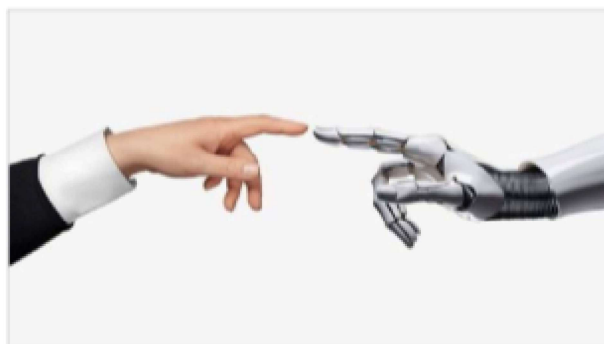
### 『ほんもの』を見出す

みなさんは、新聞や雑誌にある「まちがい探し」をご存知でしょうか。2つのよく似た絵を見比べて、違っているところを探すパズルです。最初は同じに見えても、次第にほんものとの違いが見えてきます。また、子どもたちの遊びに「ほんもの(発信源)は誰だ?」というゲームがあります。一人が面白い格好をすると、すぐに周りの人も同じ格好をします。見ている人は、誰が最初に始めた人かを見つけます。これもよく観察すると分かってくる面白い遊びです。

では、自然に目を向けてみましょう。小鳥のさえずり、朝の光、陽射しの変化、雲の流れ、花々の色や形、香り…。私たちのまわりに、神の創造のみわざである『ほんもの』が溢れていることに気づかされます。しかし私たちは、「それは偶然」「昔からそうだから」と当然のこのように思い、こうした『ほんもの』を見過ごしてしまっていないでしょうか。

聖書は、こう語っています。『神である主は、その大地のちりて人を形造り、その鼻にいのちの息を吹き込まれた。それで人は生きるものとなった。』 実に、あなたご自身こそが、神の息によっていのちを与えられた、かけがえのない存在なのだ、と。

今、AIやロボットの技術は大きく進歩しています。外見は人間によく似たロボットを作り出せることでしょう。しかし、人のいのちをロボットに吹き込むことはできません。いのちは人ではなく、神が与えてくださるものだからです。同時に神は、恵みに満ちた正しいお方です。もしもあなたが不当な扱いを受けたなら、神はそれを見過ごされません。あなたの味方となり、守ると約束しておられます。



では、なぜ神はそれほどまでに、私たちを大切に思ってくださいのでしょうか。その答えは聖書の中にあります。私たち以上に私たちを愛して、神はご自分のひとり子であるイエス・キリストをこの世界に遣わされました。そして、私たちの罪のために、十字架にかかり、死なれ、よみがえられたのです。冒頭の聖書のことば「わたし」「主」とは、神ご自身であり、神から私たちへの真実の約束なのです。

ぜひ、あなたも聖書に目を留め、『ほんもののいのち』を見出してくださいをお勧めいたします。(S)